

# ～平成30年度の主な取り組み～

やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまちをめざして

## 夜間保育の実施

多様な労働形態と子育ての両立を支援するため、保護者が夜間の就労などにより保育できない児童を一時的に保育する夜間保育を始めました。



夜間保育所の開設

## 健康ポイント制度スタート

市民のみなさんの健康づくりの取り組みを応援する「健康ポイント事業」を始めました。

## 高齢者福祉の推進・地域医療の充実

高齢者が居住する住宅のバリアフリー改修への助成や見守り体制の構築など、住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるまちづくりの取り組みを進めました。また、適切な医療サービスを受けることができるよう、医療体制の充実を図りました。

生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまちをめざして

## ICTを生かした教育の推進

市内全小学校に電子黒板を1台、異なる学年の児童生徒が複数在籍する特別支援学級へ個人用タブレットを1人に1台配備して、ICT機器を生かした教育を進めました。



電子黒板の導入

## 高校生の通学費助成

飛驒地域内の高等学校に通学する高校生の保護者に対し、通学費を助成する制度を創設するなど、教育環境や通学環境の充実を図りました。

## 伝統文化交流拠点施設オープン

上二之町に「飛驒高山まちの体験交流館」が開館。伝統産業や伝承芸能等の実演、体験や広場でのイベントの実演を通じて活用を図りました。

魅力と活力にあふれるまちをめざして

## 地域資源を活用した観光客誘致

東海地方で初めて「ONS EN・ガストロノミーウォーク」を開催するなど、地域資源を活用した観光客の誘致を図りました。ホウレンソウ、トマトに続くブランドへ「飛驒コシヒカリ」



ONSEN・ガストロノミーウォークの推進

## 米・食味分析鑑定コンクール国際大会 in 飛驒



国内外最大規模の美味しいお米を決めるコンクールが高山市で開催され、金賞20点中、飛驒地域のお米が12点選ばれました。

## ものづくりのまちへ

「マイド・バイ飛驒高山認証制度」を創設し、飛驒高山ブランドコンセプトに合致する独自性と信頼性の高い18の地場産品を認証しました。

安全で安心して快適に住めるまちをめざして

## 駅周辺の区画整理事業が完了

高山駅東口線の整備が完了しました。現在、岐阜県が駅東の道路事業を実施中ですが、本線の整備により高山駅周辺の土地区画整理事業が完了しました。



高山駅東口線の整備

## 災害への備え

ハザードマップを更新するとともに、被災場所や河川の状況をリアルタイムで確認できるよう映像中継システムを導入しました。災害への対応



ハザードマップ

平成30年7月豪雨などにより被災した施設等の復旧工事や災害復旧支援融資利子補給、農作物被害に対する助成などにも取り組まれました。



スカイパーク公園内道路の崩壊



復旧後

環境と調和した地球にやさしいまちをめざして

## 五色ヶ原の森・新ルート整備

乗鞍山麓五色ヶ原の森の新ルートを整備したほか、飛驒山脈ジオパーク構想や白山ユネスコエコパークの普及啓発などに取り組み、自然公園の保護と適正な利用を進めました。



乗鞍山麓五色ヶ原の森新ルート「ゴスワラコース」

## 良好な景観の創出

高山にふさわしい駅前景観や良好な歩行空間の創出、施設の多言語案内看板の設置など、国が選定した「景観まちづくり刷新モデル地区」における公共施設および民間施設の景観整備などに取り組みました。



良好な歩行空間の創出

みんなでつくる持続可能なまちをめざして

## 地域づくり活動を支援

まちづくり協議会モデル的の事業や事務局人件費に対する助成など、協働のまちづくり支援金を拡充したほか、推進会議の設置や人材育成への支援を新たに設けました。



協働のまちづくり支援金モデル的の事業への助成(多摩大学・久々野中学校の交流会)

## 平和への思いを高山から発信

平和首長会議の国内加盟都市会議総会が高山市で開催され、国内91自治体に参加しました。会議では、市や市民の平和の取り組みが発表され、参加者のみなさんに高山市民の平和への思いを伝えました。



朝日中学校の平和の取組発表・合唱

## そのほかの取り組みはホームページで

平成30年度一般会計や特別会計の主な施策の実績は、でご覧いただけます。広報ID 1011290